

HD-WSU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

はじめに	3	1
セットアップ	5	2
使いかた	6	3
フォーマット	10	4
付録	17	5



インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
<http://buffalo.jp/qa/index.html>

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク **▲注意** に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク **▶次へ** に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

- Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D: CD-ROM ドライブ
- 文中 [] で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = 1000³byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB = 1024³byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALO™ は、株式会社メルコホールディングスの商標です。また、本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・ 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 はじめに..... 3

各部の名称 3

電源の ON/OFF 4

2 セットアップ..... 5

セットアップ..... 5

セットアップ時の注意 5

3 使いかた..... 6

使用上の注意..... 6

TurboUSB について (Windows Vista/XP/2000 のみ) 8

注意 8

有効化 8

設定方法 8

設定の確認方法 8

TurboUSB が不要となったら 8

本製品の取り外しかた 9

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 9

Macintosh 9

4 フォーマット 10

ご注意 10

フォーマットのしかた 10

Windows Vista/XP/2000/Server 2003 11

Mac OS X 10.3 以降 15

5 付録 17

バックアップ 17

バックアップの必要性 17

バックアップ用のメディア 17

バックアップデータの復元（リストア） 17

メンテナンス 18

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク） 18

ハードディスクの最適化（デフラグ） 18

特定のソフトウェアが使用できない場合 18

仕様 19

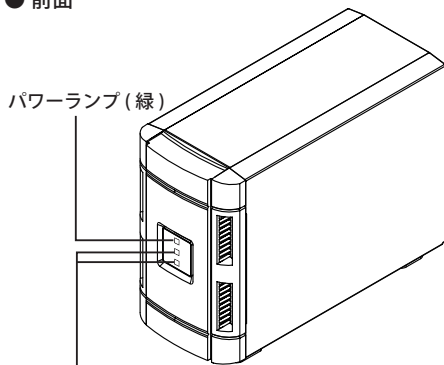
1

はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称

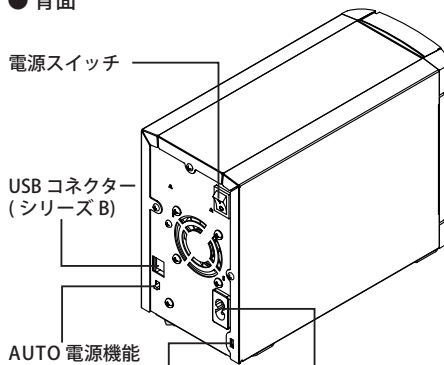
● 前面



パワーランプ (緑)

アクセスランプ (緑)
アクセス時にどちらかのランプが点滅します。

● 背面



電源スイッチ

USB コネクター
(シリーズ B)

AUTO 電源機能
切換スイッチ

セキュリティー slots

AC コネクター
※ 添付電源ケーブルを
接続してください。

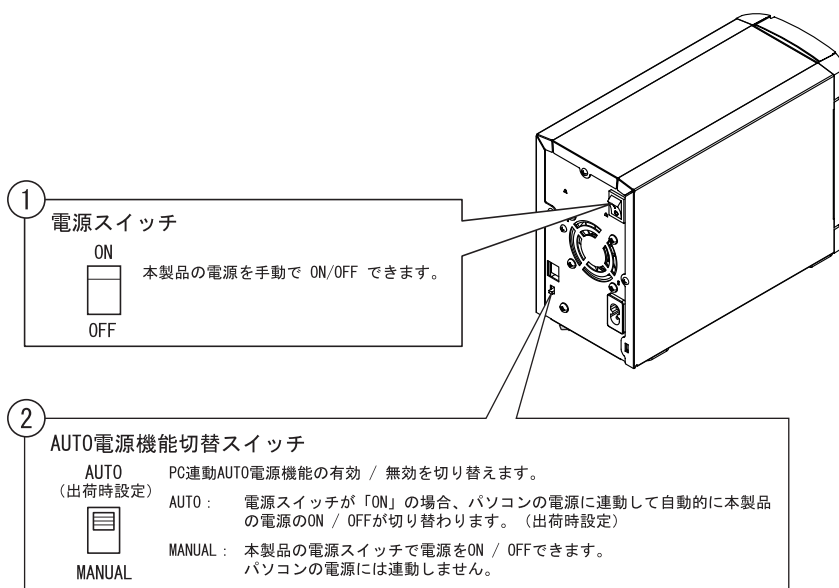
1

はじめに

電源の ON/OFF

本製品の電源は、「PC 連動 AUTO 電源機能」によってパソコン本体の電源 ON/OFF に合わせて自動で ON/OFF することも、手で ON/OFF することもできます。

出荷時は、PC 連動 AUTO 電源機能が有効になっています。



△注意 「PC 連動 AUTO 電源機能」使用時の注意

- ・「AUTO」でお使いの場合、お使いの環境によっては正常に認識しないことやパソコンの電源に連動しないことがあります。この場合は「MANUAL」にしてお使いください。
- ・AUTO 電源機能切替スイッチを切り替えるときは、本製品の電源を OFF にしてください。電源が ON のまま切り替えると、PC 連動 AUTO 電源機能が正常に切り替わらないことがあります。
- ・パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品の電源ランプが消えるまでに少し時間がかかることがあります。
- ・AC アダプター付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品の電源ランプが消えないことがあります。本製品の電源スイッチを OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。

2

セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップ

別紙「はじめにお読みください」に記載の手順でセットアップしてください。

セットアップ時の注意

● **メモ** 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。
【P10「フォーマット」】

● Windows 2000 を使用している場合、セットアップ中に [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の [完了] をクリックしてください。「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

● 本製品のドライバーがインストールされると、[デバイス マネージャ] (※) に次のデバイスが追加されます。

※ [デバイス マネージャ] は次の方法で表示できます。

Windows Vista [スタート] をクリック→ [コンピュータ] を右クリック→ [管理] をクリック→ [続行するにはあなたの許可が必要です] と表示されたら [続行] をクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック

Windows XP/Server 2003 [スタート] をクリック→ [マイ コンピュータ] を右クリック→ [管理] をクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック

Windows 2000 [マイ コンピュータ] を右クリック→ [管理] をクリック→ [デバイス マネージャ] をクリック

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows Vista	ユニバーサルシリアルバスコントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
Windows XP/2000/Server 2003	USB(Universal Serial Bus)コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名 USB Device

● 本製品は、出荷時に FAT32 形式 (1パーティション) で論理フォーマットされていますので、4GB 以上のファイルを保存できません。Windows の場合は NTFS 形式、Mac OS の場合は Mac OS 拡張形式でフォーマットすると、4GB 以上のファイルも保存できるようになります。

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

使用上の注意

- △注意** ・本製品に仮想メモリーを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
- ・本製品にアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- ・パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。
- PC 連動 AUTO 電源機能について
- ・ PC 連動 AUTO 電源機能を使用すると、パソコンの電源に連動して本製品の電源が ON になります。【P4】
 - ・ 本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USB からの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
 - ・ パソコンの電源スイッチを OFF にしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
 - ・ AC アダプター付きの USB ハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチを OFF にしても本製品のパワーランプが消えないことがあります。そのときは、本製品の電源を OFF にするか、USB ハブから本製品を取り外してください。
- Mac OS X 10.3 をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【P15】
- 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P9「本製品の取り外しかた」】
- △注意** 本製品にアクセスしているとき（アクセラランプが点灯/点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。
- 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。
- パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。
- 本製品から OS を起動することはできません。
- 本製品は、横置きで使用できません。必ず縦置きで使用してください。
- △注意** 動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。
- 本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。



本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC 連動 AUTO 電源機能を使用していると、電源が OFF の状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

- 本製品を横置きで使用したり、積み重ねて使用しないでください。
- 本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
- 本製品に布などをかぶせないでください。

● Windows Vista/XP 搭載のパソコンで使用する場合

本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。(以下略)」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。

本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。Windows Vista/XP/2000/Server 2003 や Mac OS をお使いの場合には、NTFS 形式や Mac OS 拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● Macintosh でリカバリーするときは、本製品を取り外してください。

取り外さないとリカバリーできないことがあります。

● 本製品の動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

● 本製品の総容量が 2TB を超える場合、出荷時状態で 1 領域が 2TB を超えないように領域が区切っております（例：本製品が 3TB の場合、2TB、1TB に区切っております）。これは、Windows XP/2000 で 2TB を超える領域が認識できないためです。Windows Vista/Server 2003 をお使いの場合、Drive Navigator や容量モード変更ツールで最大容量モードにすると、本製品の総容量を 1 領域で使用できます。Mac OS をお使いの場合は、最大容量モードに変更できません。そのままお使いいただくか、Windows パソコンで最大容量モードにしてお使いください。

● Windows XP/2000 をお使いの場合、2TB を超える容量の領域に対応していません。

本製品が 2TB を超える場合は、Drive Navigator や容量モード変更ツールで互換モードにしてお使いください。2TB を超えないように領域が分割されます（例：本製品が 3TB の場合、2TB、1TB に分割されます）。

TurboUSB について (Windows Vista/XP/2000 のみ)

TurboUSB とは、本製品の転送速度を高速化する機能です。本製品の転送速度を高速化したい場合にインストールしてください。

注意

- 対応 OS は、Windows Vista/XP/2000 です。
- USB2.0 接続のみ対応です。USB1.1 には対応していません。
- 本製品に収録されている TurboUSB は、本製品専用です。他の製品は、有効になりません。また、他の製品に付属の TurboUSB で本製品の転送速度を高速化することはできません。

有効化

以下の手順で有効化してください。

1 本製品に保存されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックします。

Windows Vista をお使いの場合、「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。その場合は、[続行] をクリックしてください。

2 [オプション] をクリックします。

3 [TurboUSB を有効化します] をクリックします。

以降は、画面の指示に従って有効化してください。

設定方法

[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[TurboUSB for HD-WSU2] を実行すると、有効/無効を切り替えられます。

※ 実行できない場合は、「有効化」手順で有効化した後、設定を行ってください。

設定の確認方法

TurboUSB が有効の場合、本製品を取り外すときに表示されるメニューに「TurboUSB」という文字が表示されます (P9 参照)。

TurboUSB が不要になったら

TurboUSB 機能が不要になった場合は、[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[TurboUSB]-[アンインストーラ] でアンインストールできます。

※ 本製品の TurboUSB をアンインストールすると、本製品以外の製品の TurboUSB 機能もアンインストールされます。本製品の TurboUSB 機能を停止させたい場合は、アンインストールせず無効に設定することをお勧めします。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で本製品を取り外します。

☒ パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。

Windows Vista/XP/2000/Server 2003

省電力ユーティリティー for HD をインストールされた場合は、省電力ユーティリティーのマニュアルに記載の手順で取り外してください。

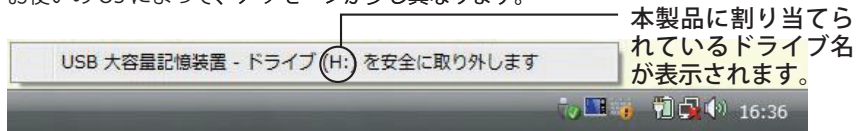
省電力ユーティリティーのマニュアルは、DriveNavigator (本製品に保存されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックしたときに表示されるメニュー) から表示できます。省電力ユーティリティーがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

△注意 省電力ユーティリティー for HD をインストールしていないときは、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を例に使用しています。NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコン (Windows Vista) / (Windows XP/Server 2003) / (Windows 2000) をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置 (デバイス) - ドライブ (X:) を停止します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。



△注意 TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「TurboUSB」と表示されます。

3 [USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。] と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

☒ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません (表示は自動的に消えます)。

Macintosh

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク (本製品) のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

△注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 本製品を取り外します。

3

使
い
か
た

4

フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

ご注意

- **Mac OS X 10.3 をお使いの場合は、必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。**
Mac OS X 10.3 をお使いの場合は、出荷時状態（FAT32 形式）で使用できません。必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。
- **Windows をお使いの場合は NTFS 形式、Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合は Mac OS 拡張形式でフォーマット（初期化）することをお勧めします。**
本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています。Windows や Mac OS X 10.4 以降をお使いの場合、そのままお使いいただくこともできますが、4GB 以上のファイルを保存できません。Windows と Mac OS X 10.4 以降で併用する場合にのみ、FAT32 形式でお使いください。
- **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。
- **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

フォーマットのしかた

使用している OS に応じて、次のページを参照してください。

- ・ Windows Vista/XP/2000/Server 2003 …………… 【P11】
- ・ Mac OS X 10.3 以降 …………… 【P15】

次のページへ続く

Windows Vista/XP/2000/Server 2003

フォーマットするときは、以下の手順で行ってください。

- △注意**
- 本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。
※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。
 - ここでは、NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。FAT32 形式でフォーマットするときは、付属の DiskFormatter でフォーマットしてください。詳しい手順は、DiskFormatter のマニュアル (PDF ファイル) を参照してください。

- 1 パソコンを起動し、コンピュータの管理者権限 (Administrator など) があるユーザーでログオンします。
- 2 [スタート] をクリック→ [コンピュータ (マイコンピュータ)] を右クリック (Windows 2000 の場合は、デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリック) し、[管理] をクリックします。

以下の画面が表示されたら？

Windows Vista の場合、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、[続行] をクリックしてください。



[続行] をクリックします。

- 3
-

[ディスクの管理] をクリックします。

- 4
-

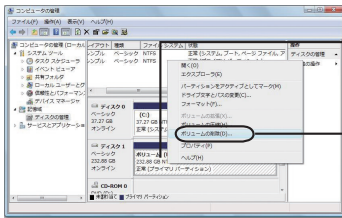
本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

- △注意** 本製品に割り当てられたドライブが「未割り当て」と表示されている場合は、手順 8 へ進んでください。

次のページへ続く

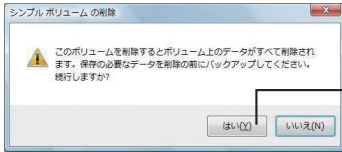
5



① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

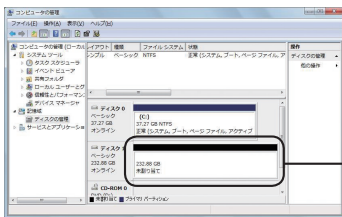
② [ボリュームの削除] をクリックします。

6



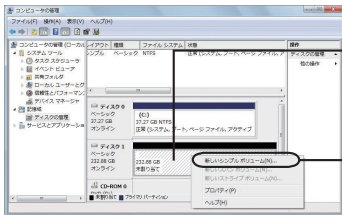
[はい] をクリックします。

7



未割り当て領域が表示されます。

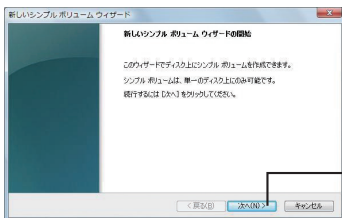
8



① 未割り当て領域を右クリックします。

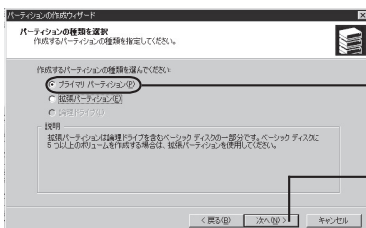
② [新しいシンプルボリューム] (Windows XP の場合は [新しいパーティション]、Windows 2000 の場合は [パーティションの作成]) をクリックします。

9



[次へ] をクリックします。

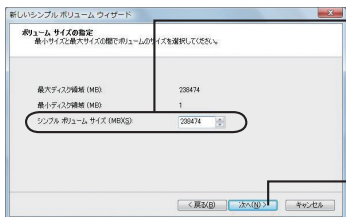
以下の画面が表示されたときは？



① [プライマリパーティション] をクリックして (・) を付けます。

② [次へ] をクリックします。

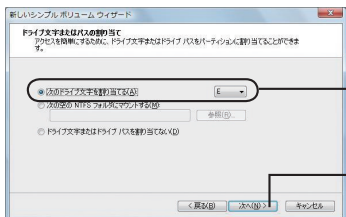
10



① [シンプルボリューム サイズ] ([パーティションサイズ] または [使用するディスク領域]) でサイズを指定します。
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② [次へ] をクリックします。

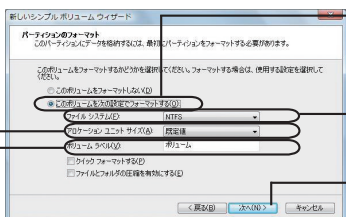
11



① [次のドライブ文字を割り当てる] をクリックし、ドライブ文字を指定します。
※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② [次へ] をクリックします。

12



① [このボリューム (パーティション) を次 (以下) の設定でフォーマットする] をクリックし、(・) を付けます。

② [NTFS] を選択します。

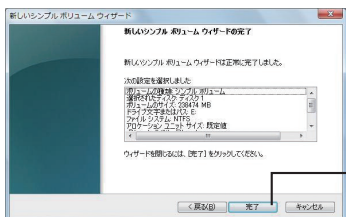
③ 各項目を設定したら、[次へ] をクリックします。

必要に応じて [ボリュームラベル] を入力します。

[アロケーションユニットサイズ] は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

注意 本製品にパーティションが1つも存在しないときは、[クイックフォーマットする] にチェックマーク✓を付けないでください。チェックマーク✓を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。

13

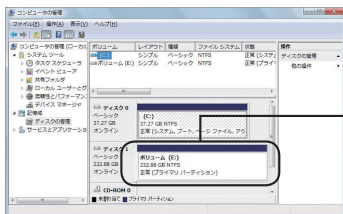


[完了] をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

注意 フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の [フォーマットの中止] をクリックします。

次のページへ続く



フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

- 1 作成したパーティションを右クリックして [フォーマット] を選択します。
- 2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[OK] をクリックします。
【注意】 [クイックフォーマットする] にチェックマーク を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。
- 3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

【メモ】 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 10 でサイズを指定し、以下手順 14 までを作成する数だけ繰り返します。

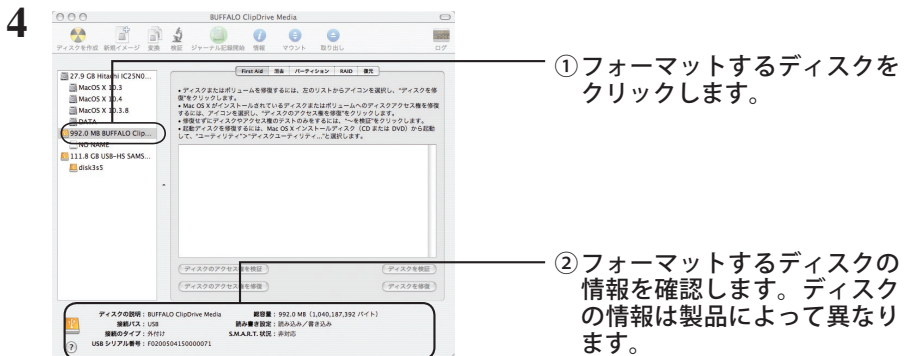
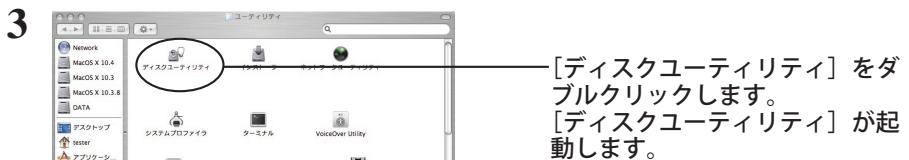
Mac OS X 10.3 以降

Mac OS X のディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。

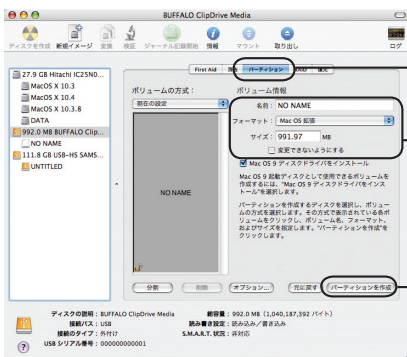
- △注意**
- フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。
 - 本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けてお使いください。
 - 詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。
 - 本書では、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。

1 デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。

2 [アプリケーション] フォルダーの中の [ユーティリティ] フォルダーを開きます。



5

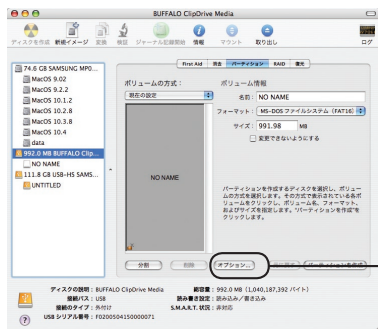


- ① [パーティション] をクリックします。
- ② ボリューム情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張] を選択してください。
- ③ [パーティションを作成] をクリックします。

ボリューム情報を設定できないときは？ (Mac OS X 10.4 以降のみ)

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

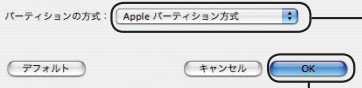
1



[オプション] をクリックします。

2

Apple 以外のハードウェアに接続する可能性のあるリムーバブルメディアまたは外部ドライブの場合は、パーティションマップを「PC パーティション方式」に設定できます。デフォルトは「Apple パーティション方式」です。



- ① [Apple パーティション方式] を選択します。
- ② [OK] をクリックします。

6



[パーティション] をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

△注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- ・ DVD-R/RW
- ・ DVD+R/RW
- ・ DVD-RAM
- ・ CD-R/RW
- ・ 光磁気ディスク（MO）
- ・ 増設ハードディスク
- ・ ネットワーク（LAN）サーバ

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にするをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

- ☑ **メモ** ・エラーのチェック方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。
- ・Macintosh には、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが断片されてディスクのあちこちに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちこちにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

- ☑ **メモ** ・最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。
- ・Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。

その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

- ※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトウェアではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (buffalo.jp) を参照してください。

インターフェース	USB	
準拠規格	USB Specification Rev2.0	
コネクタ	USB シリーズ B コネクタ	
セクター容量	512Bytes	
シークタイム	最大 11msec	
転送速度	最大 480Mbps (※)	
出荷時フォーマット形式	FAT32(1パーティション)	
外形寸法	99(W) × 163(H) × 221(D)mm (突起物含まず)	
消費電力	最大 47W、平均 25W	
電源	AC100V、50/60Hz	
動作環境	温度	5 ~ 35°C
	湿度	20 ~ 80%(結露なきこと)
対応機種	USB コネクタを標準搭載する次のパソコン ・ DOS/V 機 (OADG 仕様) ・ Apple 製 Macintosh 弊社製 USB ボード (別売) を搭載した次のパソコン ・ DOS/V 機 (OADG 仕様)	
対応 OS	DOS/V 機	Windows Vista/XP (Media Center Edition を含む) /2000、 Windows Server 2003
	Macintosh	Mac OS X 10.3 以降

※ 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード (最大転送速度 480Mbps) で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース (または USB2.0 に対応したパソコン本体) が必要です。

HD-WSU2 シリーズ ユーザーズマニュアル

2008 年 11 月 19 日 第 2 版発行

発行 株式会社ハッファロー

